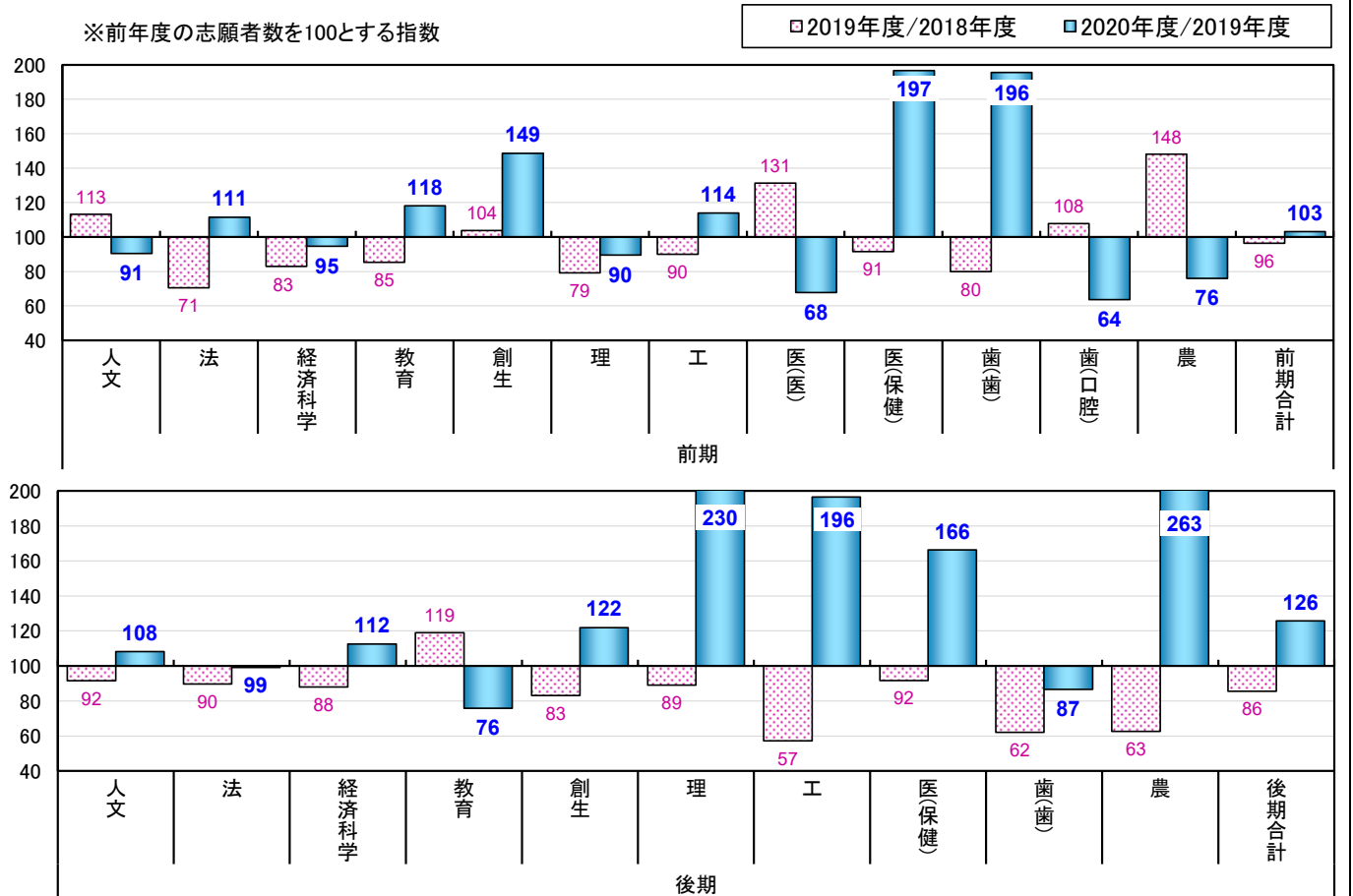


2020年度入試状況分析【国公立大】

新潟大：前期はやや増加、後期は大幅増加で理、農は倍以上 前期：+107人 後期：+513人



入試変更点

学部改組：経済(経済、経営)〈前〉160人、〈後〉65人→経済科学(総合経済)〈前〉180人、〈後〉80人
 選抜方法：教育(学校/教育心理)…後期日程廃止(2人→0人)
 募集人員：人文〈前〉…145人→140人、〈後〉…50人→40人
 法〈前〉…90人→85人、〈後〉…40人→35人
 教育(学校/数学)〈前〉…13人→10人、〈後〉…3人→2人
 (学校/社会)〈前〉…18人→16人、〈後〉…5人→2人
 (学校/理科)〈前〉…15人→12人、〈後〉…4人→2人
 (学校/音楽)〈前〉…9人→8人
 (学校/美術)〈後〉…2人→1人
 (学校/保健体育)〈前〉…9人→8人、〈後〉…3人→2人
 (学校/国語)〈前〉…16人→13人、〈後〉…4人→2人
 (学校/英語)〈前〉…10人→7人
 (学校/技術)〈後〉…3人→2人
 (学校/家庭)〈前〉…7人→6人、〈後〉…2人→1人
 (学校/特別支援)〈前〉…9人→8人、〈後〉…3人→2人
 (学校/学校)〈前〉…14人→9人、〈後〉…3人→2人
 (学校/教育心理)〈前〉…10人→9人
 工(力学)〈前〉…86人→77人、〈後〉…17人→14人
 (情報電子)〈前〉…101人→90人、〈後〉…21人→18人
 (化学材料)〈前〉…89人→77人、〈後〉…18人→15人
 (建築)〈前〉…28人→25人、〈後〉…6人→5人
 (融合領域)〈前〉…45人→41人、〈後〉…9人→8人
 医(医)〈前〉…85人→80人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は2年連続減少の反動は小さく、107人(103)のやや増加。学部別ではほとんどの学部が前年度と逆の増減。後期は2年連続減少の反動で、513人(126)の大幅増加で、特に理、農は倍以上。

2020 年度入試状況分析【国公立大】

<前期日程>

- 人文(91)は、2年連続増加の反動で減少。
- 法(111)は、前年度大幅減少の反動で増加。
- 経済科学(95)は、今年度経済から改組、前年度経済との対比ではやや減少。募集人員は20人増加(+12.5%)なので、志願倍率は2.8倍→2.4倍にダウン。
- 教育(118)は、2017年度にゼロ免課程が廃止となり、(学校教員養成課程)のみの募集。(学校教員養成課程)のみで、2年連続大幅減少の反動で大幅増加。募集人員が24人減少(-16.7%)なので、志願倍率は2.3倍→3.3倍にアップ。それでも、系統への不人気から2017年度対比指数(81)と大幅減少。
- 創生(149)は、大幅増加。開設初年度の2017年度に次いで多い志願者数で、志願倍率も2.4倍→3.6倍にアップ。
- 理(90)は、減少で2年連続減少。〈選抜方法A〉(112)は増加、一方で〈選抜方法B〉(79)、〈選抜方法C〉(66)はいずれも大幅減少。個別試験が一般的な英、数、理1の選択のみの〈選抜方式A〉に高い人気。
- 工(114)は、2年連続減少の反動で増加。
- 医(医)(68)は、4年連続増加の反動で大幅減少。志願倍率も6.0倍→4.3倍にダウン。
- 医(保健)(197)は、2年連続減少の反動で倍増近い激増。3専攻ともに大幅増加で、特に(保健/検査技術)(362)は3.5倍を超える激増。
- 歯(歯)(196)は、前年度大幅減少の反動で倍増近い激増。
- 歯(口腔生命福祉)(64)は、2年連続増加の反動で大幅減少。
- 農(76)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率は1.9倍で再び2倍を下回った。

<後期日程>

- 人文(108)は、前年度減少の反動で増加。
- 法(99)は、2年連続減少の反動はなく、微減。
- 経済科学(112)は、今年度経済から改組、前年度経済との対比では増加。ただし、募集人員は15人増加(+23.1%)なので、志願倍率は7.7倍→7.0倍に競争緩和。
- 教育(76)は、大幅減少。2017年度にゼロ免課程が廃止となり、(学校教員養成課程)のみの募集となって以降、前年度の反動による増減が続いている。
- 創生(122)は、2年連続大幅減少の反動で大幅増加。開設初年度を除くと最も多い志願者数。
- 理(230)は、2年連続減少の反動で2.3倍の激増。志願倍率は2.6倍→5.9倍にアップ。
- 工(196)は、2年連続減少の反動で倍増近い激増。志願倍率は2.4倍→5.5倍にアップし、近年では2013年度の5.9倍に次ぐ高倍率だった。
- 医(保健)(166)は、3年連続減少の反動で大幅増加。3専攻ともに増加で、特に(保健/検査技術)(303)は3倍を超える激増。
- 歯(歯)(87)は、減少で2年連続減少。
- 農(263)は、4年連続減少の反動で2.5倍を超える激増。志願者数は2003年度以来の200人を上回り、志願倍率も2.7倍→7.2倍にアップ。